Title	最優秀ポスター賞受賞 京の怪談遺産 第4回環太平洋大学院生観光研究フォーラム出展作品
Author(s)	河野, 隼也; 山村, 高淑; 鯛天, 成雄
Citation	京都嵯峨芸術大学紀要, 31, 115-118
Issue Date	2006-03-10
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/39213
Туре	article
Note	制作活動報告. 制作:河野隼也、監修:山村高淑、鯛天成雄
File Information	Kohno-Yamamura-Taiten20060310.pdf



第4回環太平洋大学院生観光研究フォーラム出展作品

(監修) 山村高淑・鯛天(制作) 河野隼 也

本作品は、河野隼也(京都嵯峨芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻・修士課程1年)の研究「無形文化の新たな表現手法に関する研究」の成果の一部を、英語版ポスターとしてとりまとめたものである。2005 Fourth Annual Asia Pacific Forum for Graduate Student Research in Tourism(第4回環太平洋大学院生観光研究フォーラム)に出展し、Best Poster Award(最優秀ポスター賞)を受賞した。

本作品では、古くから京都に伝わる怪奇な伝説・説話の紹介、古典的怪談と現代日本の怪談的要素を持つ漫画・アニメーション・映画作品との関連性の分析などを通して、現代日本における怪談文化の持つ社会文化的価値と魅力を明らかにし、これまで言及されることのなかった京都に伝わる怪談の観光資源としての可能性を示すことを試みた。

日本の怪談は日本の歴史・文化・風俗を反映したものであり、 その内容は極めて日本的なものである。したがって我々にとっ ての最大の挑戦は、異なる文化圏の人々に、言葉だけでは伝え きれない日本の怪談文化のイメージを、ビジュアル表現を用い て如何に効果的に伝達できるかという点にあった。このような 経緯から、本作品は、通常の学会(ポスターセッション)形式 とは全く趣を異にするポスターに仕上がっている。

デザインコンセプトは、江戸時代の庶民の娯楽であった百物語 (一晩に怪談話を百話するというもの) に用いられた「青行灯」(一話終わるごとに吹き消されていく青紙を貼った行灯) である。全体的に青を基調として、背景に江戸時代の妖怪画を配置した。また幽霊や妖怪という言葉から一般的に連想されるおどろおどろしさよりも、日本の怪談文化の持つ妖しさと美しさを前面に出した。一方、各章ごとに区切られた枠内も説明文とともに、作者自身による独自の妖怪画を中心に、伝統的な幽霊画、関連する写真等を配し、バラエティー豊かな世界観を表現した。

2005 Fourth Annual Asia Pacific Forum for Graduate Student Research in Tourism

会期:2005年8月1日~3日

主催: Asia Pacific Forum for Graduate Student

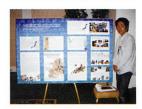
Research in Tourism

ホスト校: School of Travel Industry Management,

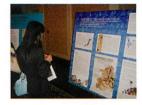
University of Hawai'i at Manoa

発表会場: Sheraton Moana Surfrider Hotel, Honolulu, Hawai'i, U.S.A.

















成

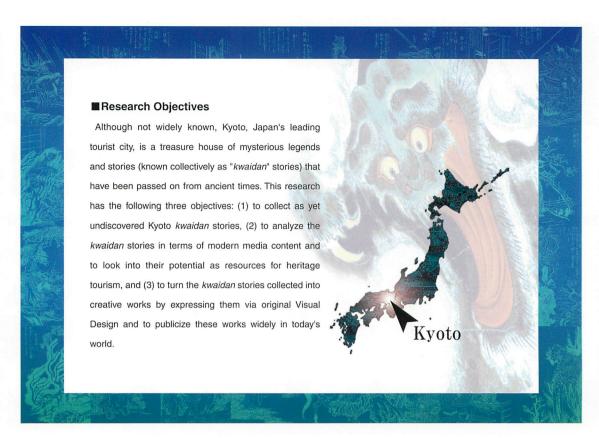
雄

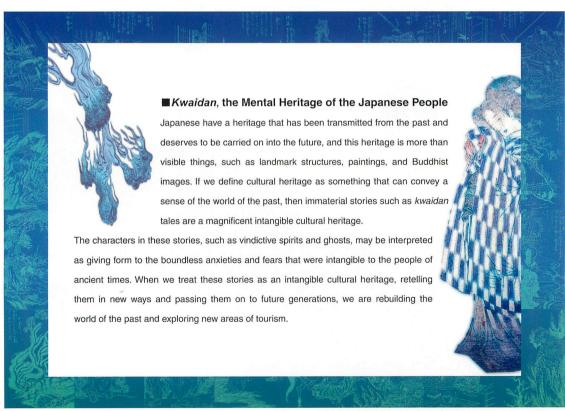


[kyoto "KWAIDAN"-Ghost Story-Heritage Tourism] H 4 feet (121.92cm) × W 6 feet (182.88cm), 2005 APF Best Poster Winner



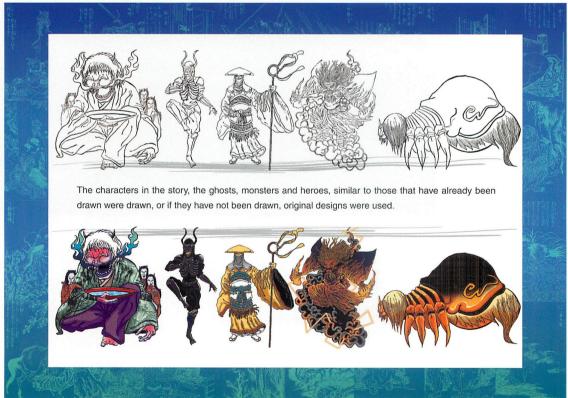
「kyoto "KWAIDAN"-Ghost Story-Heritage Tourism」(部分)





「kyoto "KWAIDAN"-Ghost Story-Heritage Tourism」(部分)





「kyoto "KWAIDAN"-Ghost Story-Heritage Tourism」(部分)

図像出展:

高田衛監修 (1992) 『鳥山石燕 画図百鬼夜行』国書刊行会、多田克己編・京極夏彦ほか文(1997)『絵本百物語 桃山人夜話』国書刊行会、 多田克己編・京極夏彦文(2000)『妖怪図巻』国書刊行会、悳俊彦編(2001)『芳年妖怪百景』国書刊行会。